

定点観察会の復習

きのこ通信021

2012年7月19日

文 幸徳伸也

～キアシヤマドリタケとキアマシアシイグチ～

7月の定点観察会では100種類以上のキノコが採れました。
その中でも、イグチは1、2を争う種数の多さです。

今回採取されたイグチの中に、大型で、全体が黄色の特徴あるイグチが採れました。
下の写真がそのキノコです。



これはキアシヤマドリタケというキノコです。

このイグチの柄をよく見ると、柄が黄色くて、柄に網目があります。

これがキアシヤマドリタケの大きな特徴です。

柄が黄色くて、柄に網目があるイグチと言えば、「キアマシアシイグチ」というキノコがもっとも有名です。

キアマシアシとは、名前の通り「黄網足→黄色で柄に網目がある」ということを表しています。

キアマシアシイグチとはどんなキノコなのでしょう？

下の写真がキアマシアグチです。



キアマシアグチ

写真を見ると、確かに柄が黄色くて、柄に網目があります。

キアマシアグチも柄が黄色くて、柄に網目があることが大きな特徴です。

前ページのキアヤマドリタケとキアマシアグチの写真をよく見比べてみてください。

キアヤマドリタケとキアマシアグチは非常によく似ていますね。

実際、誤同定されることもしばしばあります。

では、よく似ているキアヤマドリタケとキアマシアグチを一体どこを見て見分けているのでしょうか？

どこに違いがあるのでしょうか？

気になりますね。

そこで、今回の通信では、

キアヤマドリタケとキアマシアグチどのように見分ければいいのか？

このあたりを解き明かしていきます。

もう一度おさらいします。
キアミアシイグチとキアシヤマドリタケのポイントは、
柄が黄色くて、柄に網目がある。
ということです。

下の写真のキノコのような特徴ですね。



ここで1つ重大な事実があります。

傘が黄色～黒色系で柄が黄色くて、柄に網目があるキノコはいくつあるのか？

日本にはこの2種だけです。

ということは、柄が黄色くて、柄に網目があり、傘が黄色～黒色系であれば、

キアシヤマドリタケ or キアマアシイグチ

の可能性が高いということになります。

覚えておいて損はありませんね。

ただし、名前があるのはこの2種だけでまだまだ未知のキノコがあることはご承知おきください。

さて、キアマアシイグチとキアシヤマドリタケは良く似ています。

しかし、典型的な状態では簡単に見分けることができます。

どこを確認すればいいのか？

それは傘の色です。

典型的なキアマアシイグチの傘の色は黒色です。

一方、

キアシヤマドリタケの傘の色は茶色～黄色系です。

前ページの4枚の写真のうち、上側の2枚は傘が黄色系、下側の2枚は黒色系です。

ということは

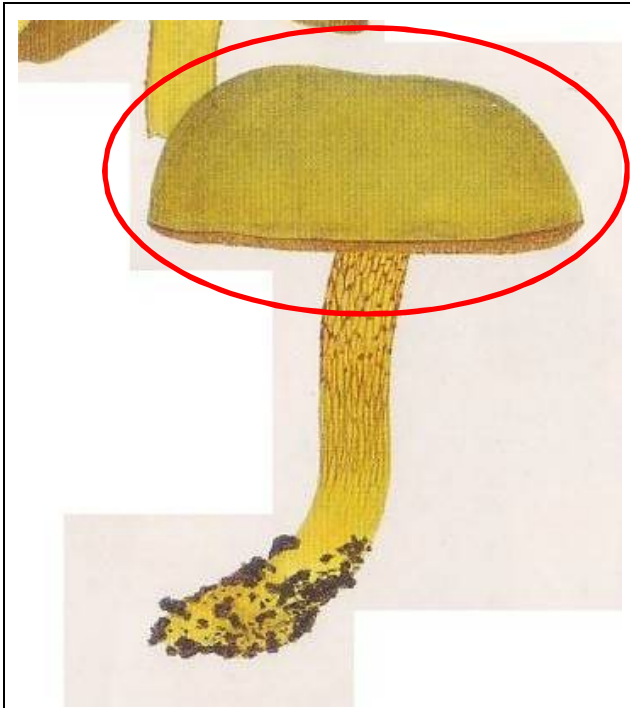
上側の2枚がキアシヤマドリタケ、下側の2枚がキアマアシイグチ

ということになります。

簡単に見分けることができますね。

しかし、そうはいかないのがキノコの難しいところです。

そこで、図鑑に掲載されているキアマアシイグチを見てみましょう



キアマアシイグチ
原色日本新菌類図鑑より



キアマアシイグチ
北陸のきのこ図鑑より

図をよく見ると傘の色は黄色系です。

キアマアシイグチの傘の色は黄色系～黒色系と変異します。

実際、はじめから傘が黄色系のキアマアシイグチもあります。

ということは、

傘の色だけでは判断が難しいときもあります。

少なくとも黄色系の傘のときはどちらかわかりません。

そこで、それ以外のポイントに注目します。

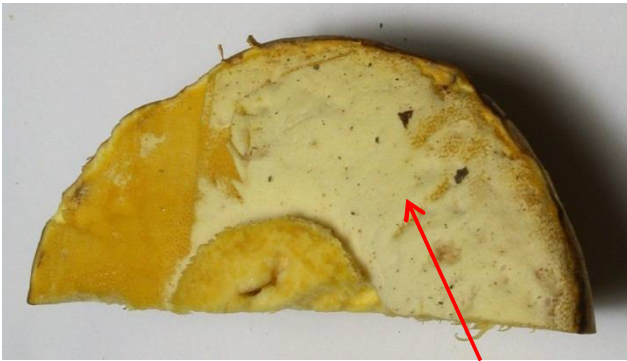
まずは、

孔口の状態を確認してください！

キアヤマドリタケの孔口は、初めはクリーム色の菌糸で管孔がふさがれます。

キアマアシイグチの孔口は、クリーム色の菌糸でふさがれることはありません。

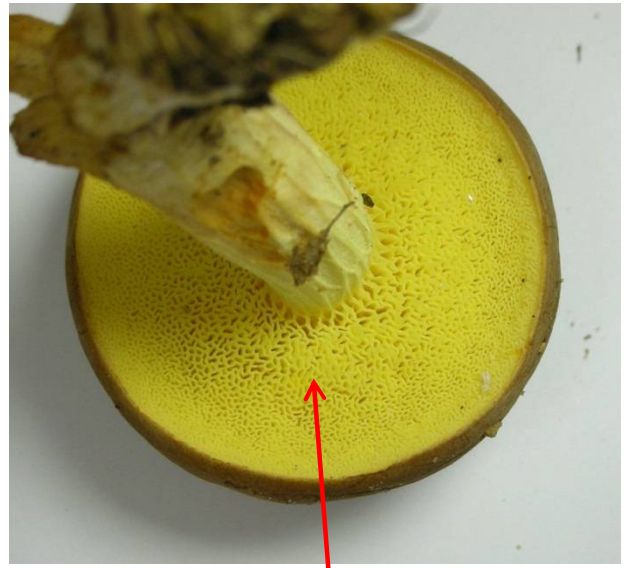
キアシヤマドリタケ



菌糸でふさがれている



キアマアシイグチ



菌糸でふさがれていない

※この写真はキアマアシイグチの管孔のイメージ写真です。キアマアシイグチの管孔ではありません

キアシヤマドリタケとキアマアシイグチは

孔口の状態を見れば簡単に判別できます。

しかし、注意すべきポイントがあります。

傘が開いた状態ではキアシヤマドリタケの孔口の菌糸はなくなります。

孔口の菌糸がなくなるということは、孔口の状態はキアシヤマドリタケもキアマアシイグチも同じ状態になります。

そうなると判別は困難になります。

孔口の状態で判別できるのは、傘が開く前のときだけです。

傘が黄色系で傘が開いた状態ではどのように判断すればいいのか？

こんなときは

肉の味を確認してください！

キアマアシイグチの肉には苦みがあります。

キアシヤマドリタケに苦みはありません。

実をいうと、キアシヤマドリタケとキアマシアシイグチは

肉の苦みの有無を調べればすぐにわかります。

実をいうと両者の判別は簡単です。

キアシヤマドリタケとキアマシアシイグチの違いはわかりましたか？

最後にもう一度まとめると、調べるポイントは以下の3点です。

①傘の色

②孔口の状態

③肉の味

キアシヤマドリタケとキアマシアシイグチの違い

	キアシヤマドリタケ	キアマシアシイグチ
①傘の色	黄色系～茶色系	黄色系～黒色系
②孔口	はじめは菌糸でふさがれる	はじめは菌糸でふさがれない
③肉の味	苦みがない	苦みがある

③の肉の味を一番はじめに調べればすぐに判断はできます。

しかし、できれば口にキ/コは入れたくはありませんね。

そこでまずは傘の色や孔口の状態を確認するようにしましょう！。

肉の味は最終手段です。

キアシヤマドリタケとキアマシアシイグチは“見た目以外の特徴が重要”という1つの事例です。

ところで、キアマシアシイグチはどんな図鑑にも載っています。

しかし、キアシヤマドリタケはほとんどの図鑑に載っていません。

なぜ、図鑑に載っていないのでしょうか？

次回の通信はキアシヤマドリタケのそういった事情についてのお話です。